

◇国道43号及び阪神高速神戸線に係わる環境対策の推進

1. 路面の舗裝修繕工事等

○国道43号における修繕状況

<経緯>

沿道騒音・振動の低減を図るため、路面状況の調査を行うとともに、優先順位の高い箇所から順次舗裝修繕工事の施工を進めています。

平成14年度については、芦屋市域（下り：約1900m，上り：約500m）と神戸市域（約800m）の基層を含む低騒音舗装の更新やコンクリート版の目地によるクラックの防止処置を行いました。

<今後の方針>

平成15年度は、これまでに行った舗装状況の調査結果を踏まえ、尼崎市域（下り：約350m，上り：約150m）、西宮市域（下り：約2800m，上り：約2200m）神戸市域（下り：約900m，上り：約550m）について、舗裝修繕工事を行う予定です。

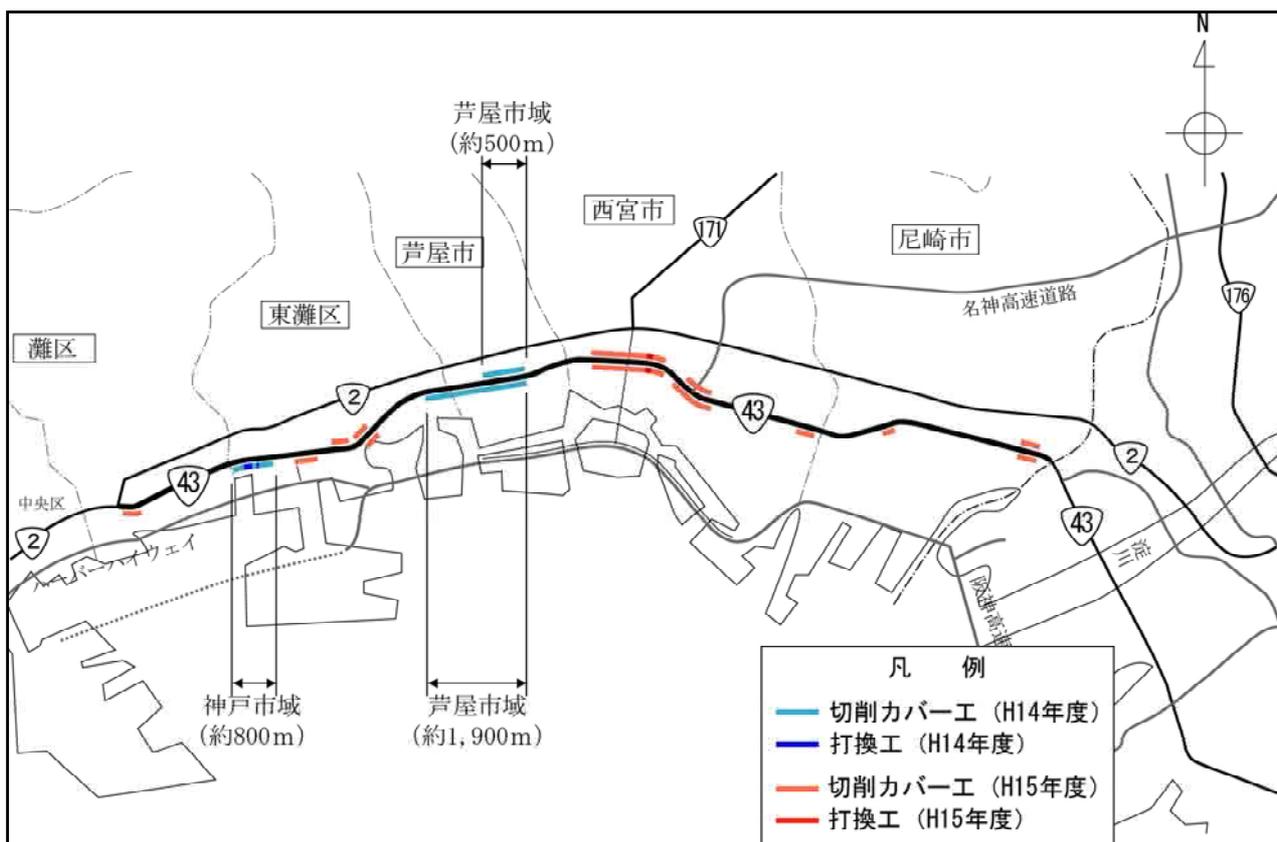


図1 路面の舗裝修繕箇所（平成14・15年度）

尼崎市域



西宮市域

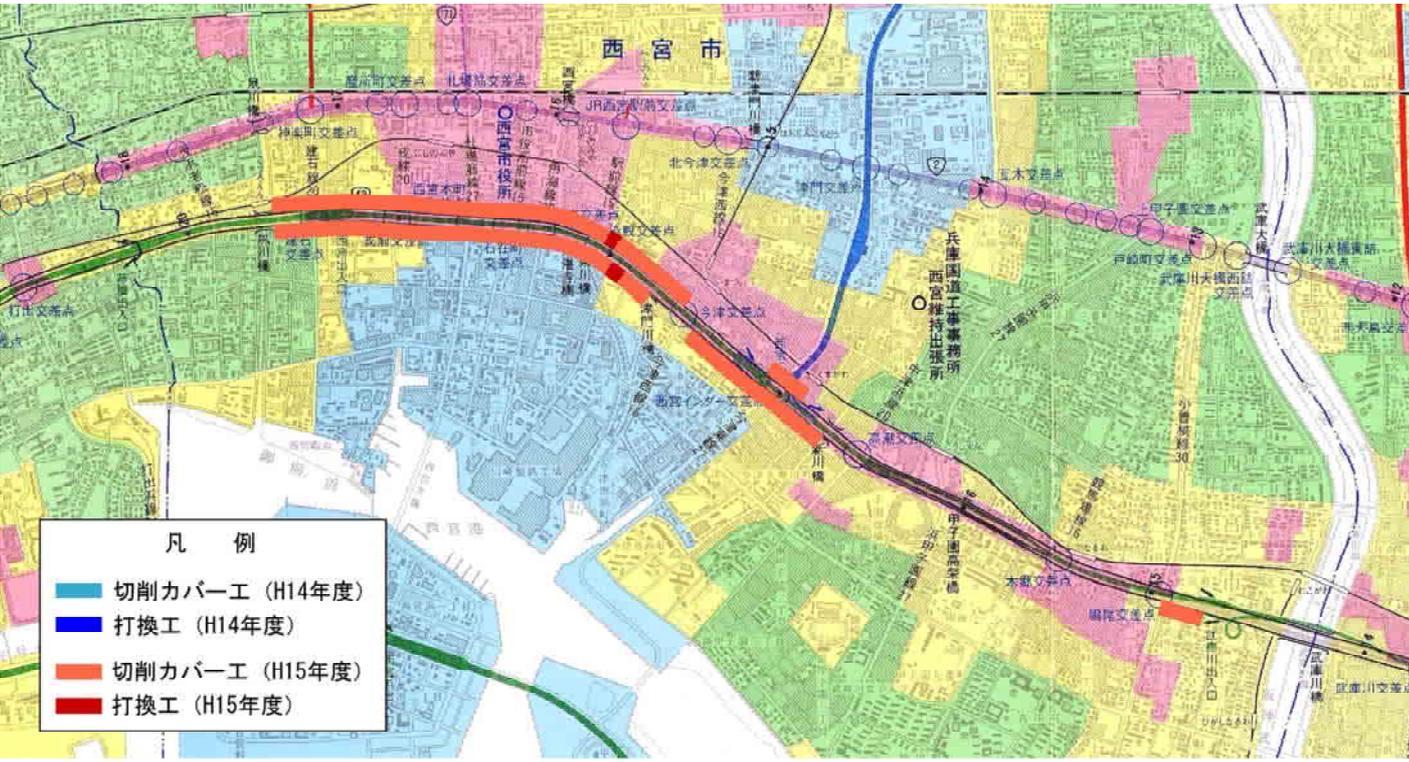
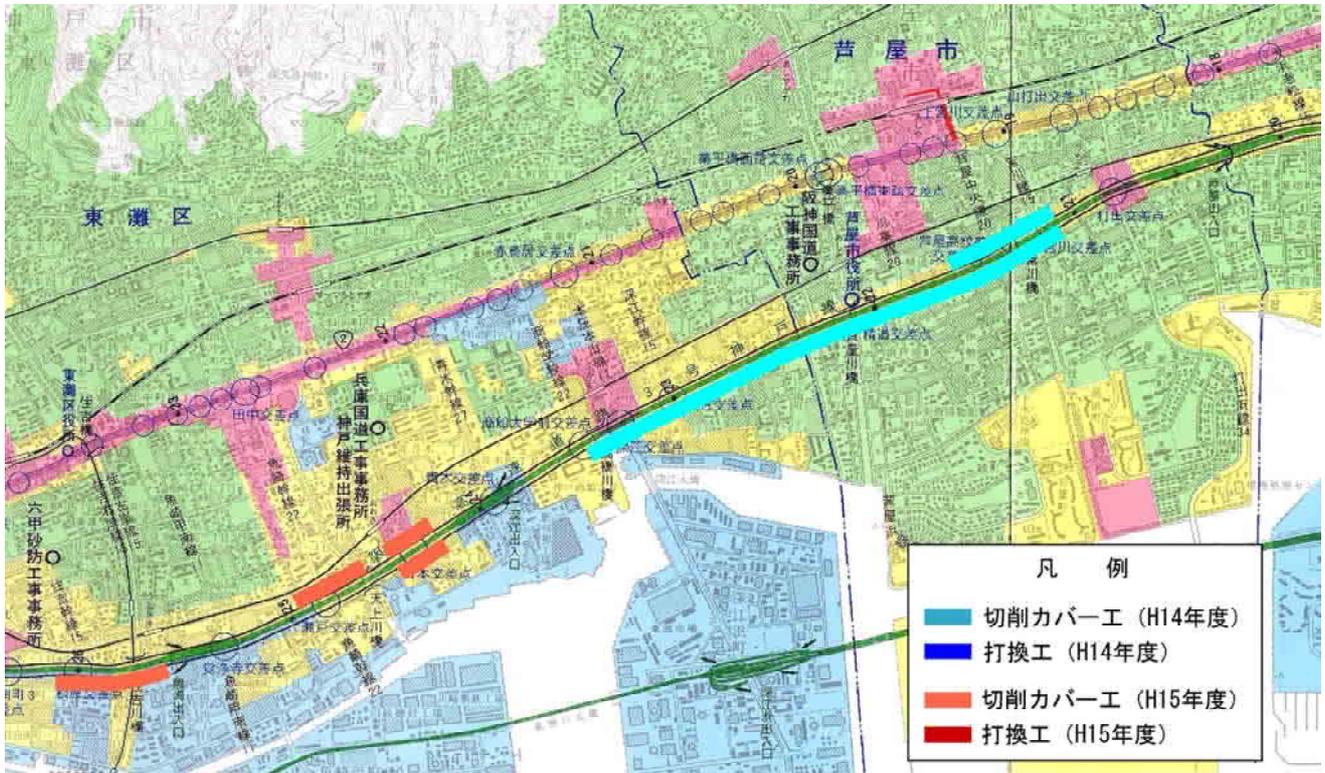


図2 舗裝修繕箇所位置図

芦屋・神戸市域



神戸市域

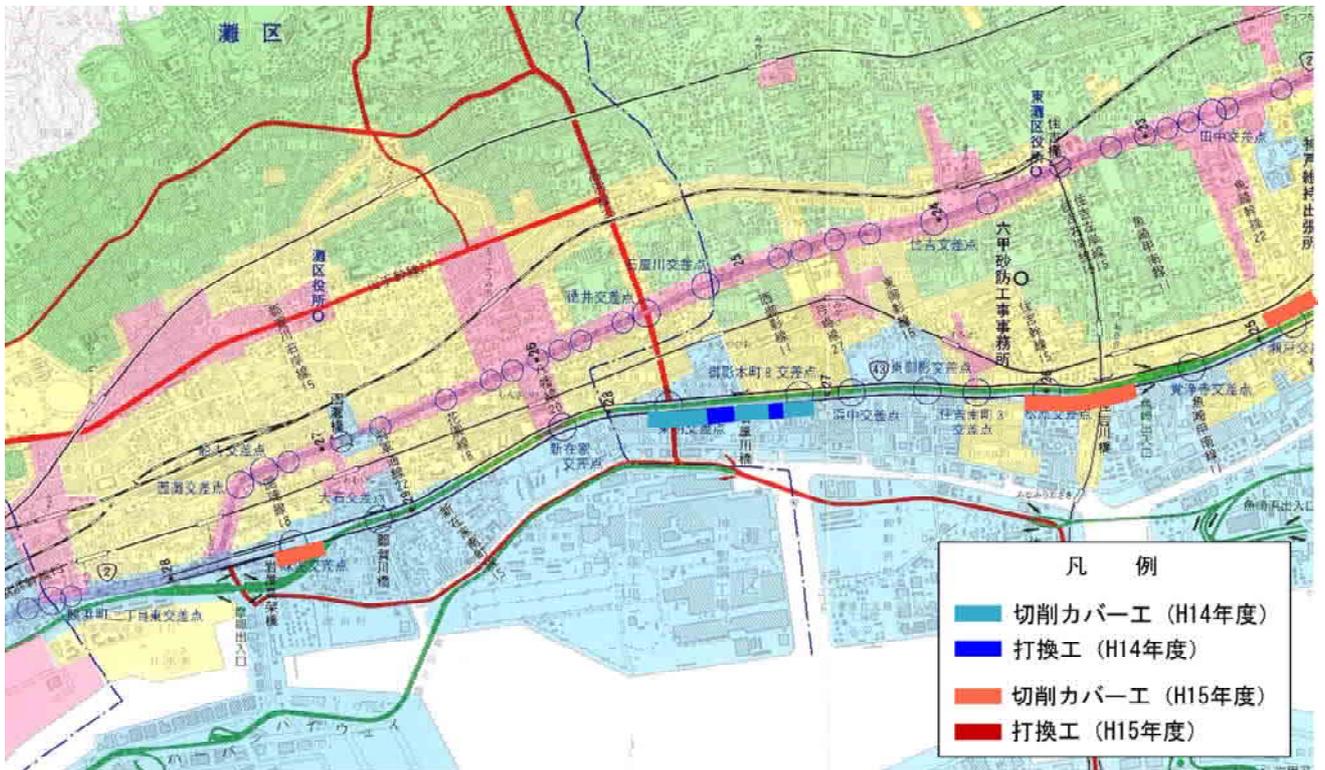


図3 舗裝修繕箇所位置図

切削状況



敷均状況



転圧状況



写真1 舗装修繕の作業状況

○3号神戸線における補修状況

<経緯>

阪神高速道路公団では自動車走行の安全性や沿道環境の保全を確保するため、舗装、伸縮継手などの損傷について、目視による点検を毎日行っています。また、高速道路の路下に対する安全性の確保や構造物の損傷確認のため、路下から2ヶ月に1度程度、検査路から6ヶ月に1度程度点検を行っております。

平成14年度は、日常点検の結果、舗装補修を約13,000m²、ゴム伸縮継手補修を9箇所(12レーン)行いました。

<今後の方針>

平成15年度も、引き続き自動車走行の安全性や沿道環境の保全を確保するため、良好な維持管理に努めます。



写真2 舗装補修完了後



写真3 ゴム伸縮継手補修完了後

